米国軍事費の3%があれば、地球上の 飢餓をなくせる可能性があります。

これは世界の飢餓をなくすための提案です。

もう二度と、生きるための食料を欠く人がいないように。もう二度と、飢餓に怯える子供も大人もいないように。飢えという危険が誰にとっても過去の物になるように。資源分配のための基礎技術を除き、アメリカの軍事費の3%または全世界の軍事費の1.5%さえあればいいのです。

近年、アメリカの軍事費は急激に増えています。この計画では、現在の水準の97%にまで縮小され、その差は毎年の会計処理されていない金額よりもはるかに小さい額です。

もし世界中から飢餓がなくなれば、世界は劇的に変化するでしょう。それを実現した人への感謝の気持ちは、大きく力強いものとなるでしょう。想像してみてください。米国が世界の飢餓を終息させたとしたら、世界中が米国のことをどう思うでしょうか。支援を受けた地域社会への利益は、変革をもたらすでしょう。苦悩と無力化から救われた人々の命は、世界にとって計り知れないほどの贈り物となります。

これが米国軍事費の3%でできるのです。2008年、国連は、ニューヨーク・タイムズやロサンゼルス・タイムズなど多くのメディアで報じられたように、年間300億ドルがあれば地球上の飢餓を終わらせる可能性があると述べています。国連食糧農業機関(FAO)は、その数字は現在でも最新の値だと述べています。

2019年現在、米国防総省の年間基本予算、戦争予算、エネルギー省の核兵器、国土安全保障省の軍事費、その他の軍事費の合計額は1兆ドルを大きく超えています。実に1.25兆ドルに上ります。1兆の3%は300億です。

世界の軍事費は、ストックホルム国際平和研究所の算出によると 1.8兆ドル ですが、これには2018年時点の米軍の軍事費は6,490億 ドルしか含まれておらず、実際の世界合計は2兆ドルを大きく超えています。2兆の1.5%は300億です。軍隊を保有する地球上の全ての国が、軍事への支出を飢餓緩和のために移し替えることが求められています。

